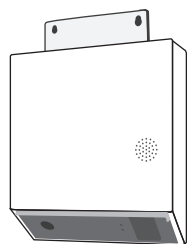


4 検知を利用する場合の推奨取付け位置



みまもり CUBE -Plus-

CPlus-00001-A

⚠ 検知機能を利用する場合の注意事項 ⚠

- ※ 推奨の取付け位置を必ず守って設置してください。推奨位置から外れた取付けをしますと、失報や誤報が多くなります。また、推奨の取付け位置に取付けた場合でも、利用環境によっては、誤報や失報などが発生することがありますのでご了承ください。最適な検知設定をオペレーターが施しますが、改善できない場合もありますので、併せてご了承ください。
- ※ 画角調整後は、本製品をしっかりと固定し、動かないことを確認してください。画角がズレると誤報や失報などの原因になります。
- ※ 生命や財産にかかわるような状況下で使用される事を目的として設計、製造されたものではないため、本製品のシステム停止や誤作動で生命や財産に関わるような損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。その旨を理解した上で本製品を使用することとします。
- ※ 本製品または通信端末の電波環境によっては、画像付メールの遅延や、ライブ映像を表示出来ない場合がありますので、通信環境の良い状態でご利用ください。本製品は、データ通信を利用する機器のため、通信環境の悪い状況下で使用する場合は、本来の性能を十分に発揮できない恐れがありますので、通信環境の良い状態でご利用ください。

オペレーションセンターへ連絡する

- ① オペレーションセンターからの遠隔操作を許可する
まず最初に、みまもり CUBE -Plus- にログインしてください。



「Menu」をタップ

「システム設定」をタップ

「遠隔サポートの許可」にチェックが入ったことを確認し「保存」

ご注意

「遠隔サポートの許可」にチェックが入っていない場合は、オペレーションセンターから遠隔操作が出来ませんので、必ず①の操作を行ってください。

- ② オペレーターへ検知設定の希望番号を伝える

検知機能を利用する場合は、必ずラムロックオペレーションセンターに電話をお願い致します。専門のオペレーターがリモートサポートにより、本紙①～⑤までの設定をみまもりCUBE-Plus-へ設定します。ご希望の検知設定番号をお伝えください。

- ③ 設定後、検知テストを行い微調整

検知のテストを行って頂き、検知設定の微調整をオペレーターと行います。

- ④ 運用開始

微調整が完了しましたら、いよいよ運用開始です。

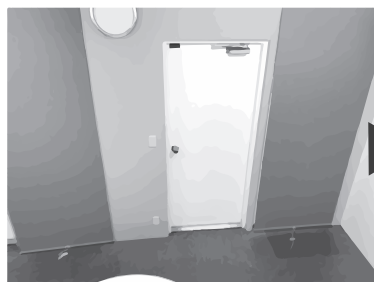
運用中、検知設定の微調整が必要になった場合は、再度オペレーターが微調整を行いますので、オペレーションセンターまでご連絡ください。

1 ドアの出入り検知で徘徊や侵入者対策！！

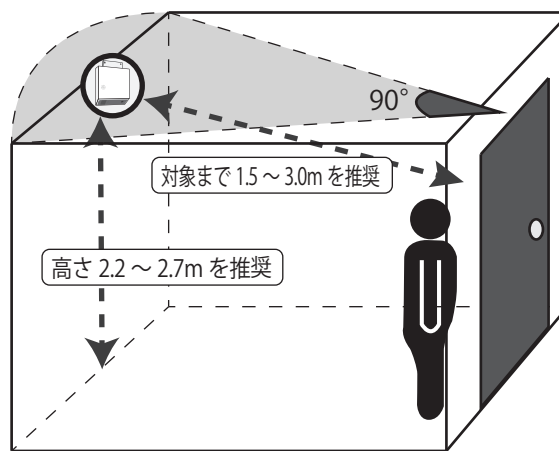
ドア付近で3秒以上滞在すると検知を行います。秒数は1秒単位で変更できますので、「長い間滞在する」という検知が必要な場合に、調整することが可能です。また、ドアの開閉の検知も行えますので、入退出などの出入り検知が可能です。ペットなどの小動物には、反応させないような設定を施しておりますが、明かりの変化などで反応する場合もありますのでご了承ください。

《通常時》

《ドア付近の滞在とドアの開閉を検知》



【推奨取付け位置】



※真正面に設置できない場合、対象物から90°の範囲内で設置してください

2 無断駐車を検知！！

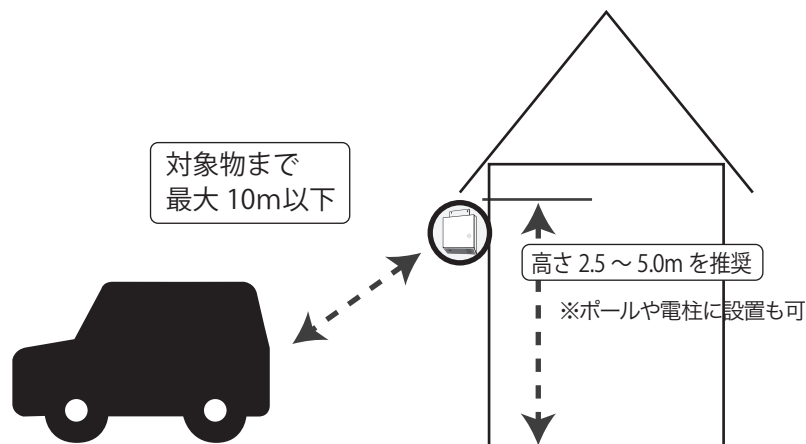
駐車禁止スペースや特定のエリアに検知範囲を設定することにより、無断で侵入してきた車両等を検知することが可能です。検知した際は、音声通知(カメラ側から警報を鳴らす)やメール通知を行うことが可能です。検知範囲に人が侵入した場合は検知しないような設定もできます。

《通常時》

《検知範囲に侵入した車両を検知》



【推奨取付け位置】



※なるべく検知したいエリアの正面に設置してください。

3 柵越えや侵入者、滞在者を検知！！

フェンスを越えて侵入してくる人や、建物の中に入って行く人を不審者として判断し通知します。その他、長時間滞在している人や、特定のエリアに滞在した人なども検知することが可能です。これにより未然に事故や盗難を防ぐことが可能となります。

《通常時》



《柵越えを検知》



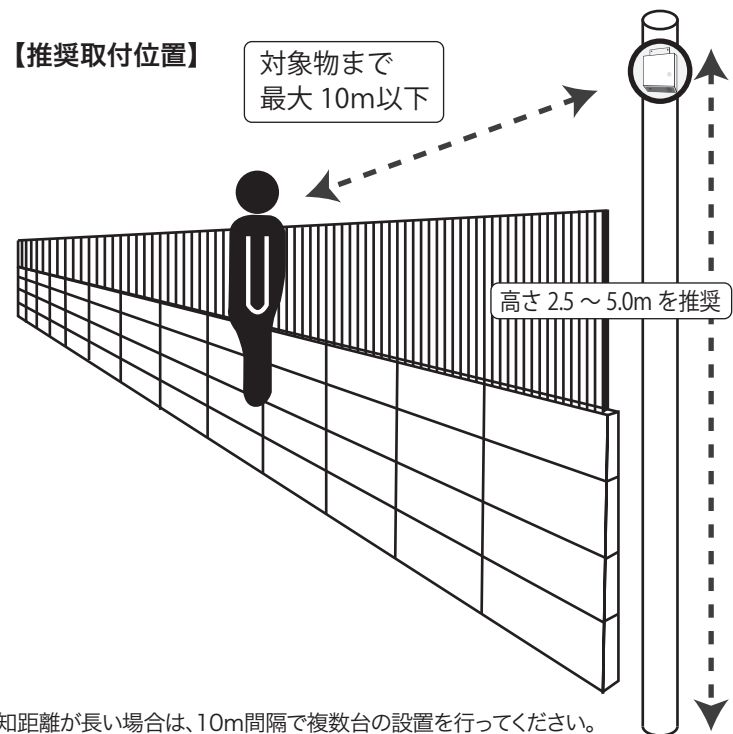
《通常時》



《特定のエリアに侵入すると検知》



【推奨取付位置】



※検知距離が長い場合は、10m間隔で複数台の設置を行ってください。
対象物が大きい場合は検知距離を10mより伸ばせる可能性がありますので、別途ご相談ください。

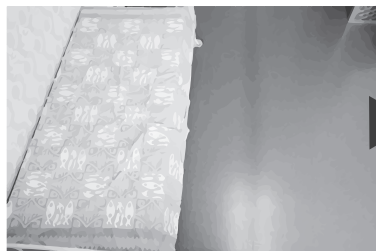
4 ベッドからの離床検知で転倒予防！！

ベッドから体の一部がはみ出ると検知を行います。対象の方の状態により転倒リスクが高い方には早めに検知をさせ、転倒リスクが低い方には遅めに検知をさせるなど、対象の方の状態によりお知らせのタイミングを変更することが可能です。

「A」の取付位置を推奨しますが、取付けができない場合は、「B」の取付位置でも離床検知が可能です。

推奨取付位置「A」から見た映像

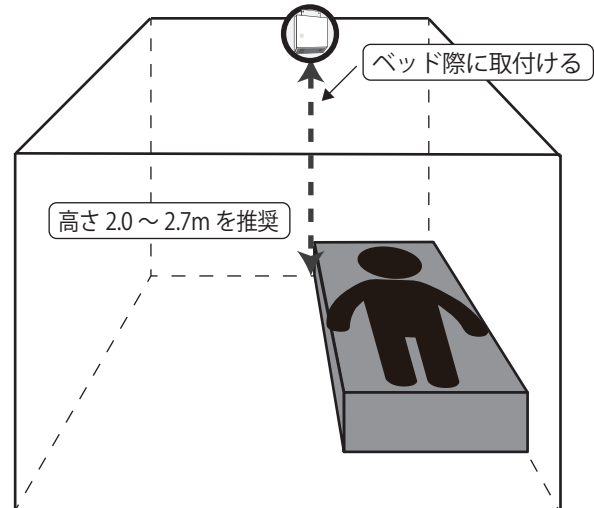
《通常時》



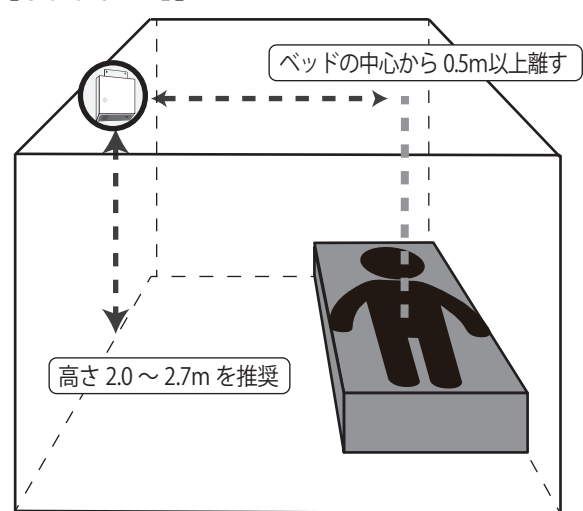
《ベッドからはみ出ると検知》



【推奨取付位置「A」】

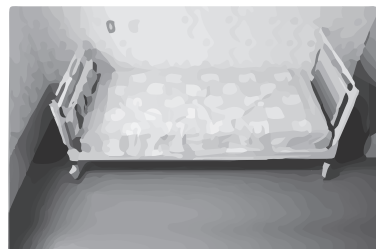


【取付位置「B」】



「B」の取付位置から見た映像

《通常時》



《ベッドからはみ出ると検知》



5 持ち去り、置き去りを検知！！

一般的な動体検知では、画像の差分から動体を区別するので静止体を区別することが出来ません。弊社の画像認識は、カメラの画像を記憶しているので、物が持ち込まれた状態や持ち去られた状態を認識することが出来ます。例えば、貴重品の持ち去り(盗難)を通知したり、敷地内へのゴミの投げ入れ(置き去り)を検知することが出来ます。

《持ち去りを検知》



《置き去りを検知》



【推奨取付位置】

※対象物が真下、もしくは正面にくるような位置に取付けてください。

